

2023(令和5)年4・5月の

ウィークエンド・シネマ

ピースおおさかで所蔵する戦争や平和の映像資料を多くの方に鑑賞していただくための機会として、開催します。

平和な世の中を引き継いでいく方法を一緒に考えてみませんか？

1階特別展示室では、特別展「むかしのくらしー昭和・戦時期の人々のせいかつー」(3/1~7/16)も行っています。

各土曜日 午後2時~

予約不要(当日先着順)

参加費無料(ただし入館料が必要)

【会場】ピースおおさか 1階講堂

「白い町ヒロシマ」



4月

1日(土)

8日(土)

15日(土)

22日(土)

29日(土)

「東京物語」



5月

6日(土)

13日(土)

20日(土)

27日(土)

【105分 カラー 1985(昭和60)年 日本】

昭和20年2月25日。柏木靖子は、父が東京へ転勤するため、姉とともに福岡から広島に祖母の家へ疎開する。翌月には、母と兄、弟もやってきて楽しい時間を過ごしていた。4月に入ると、靖子は家族と別れて学童疎開へ行くことになり…。

学童疎開中に、原爆で家族を失った体験をつづった木村靖子の同名小説を映画化。親兄弟を失った子どもたちに、豊かな心を持たせようとする教師像も描く。

【監督】山田典吾 【脚本】新藤兼人

【出演】山口崇、いまむらいづみ、菊池志保、乙羽信子、橋本功 ほか

【136分 モノクロ 1953(昭和28)年 日本】

広島尾道の尾道で暮らす老夫婦・周吉ととみは、東京に住んでいる子どもたちを訪ねる。久々の再会だったが、長男や長女はそれぞれ生活に追われて、両親を厄介者扱いする。そんな中、戦死した次男の妻・紀子だけが、彼らに優しい心遣いを見せるのだった…。

戦後日本における家族関係の変化、人間の生と死などを描いた日本映画を代表する作品。

【監督】小津安二郎

【出演】原節子、笠智衆、東山千栄子、杉村春子、山村聰、東野英治郎 ほか

【対象】どなたでも(小学生以下は保護者の方と同伴)

【入館料】大人250円、高校生150円、中学生以下は無料

65歳以上・障がい者の方も無料(要証明書)、20名以上は団体割引

【主催】公益財団法人 大阪国際平和センター(ピースおおさか)

〒540-0002 大阪市中央区大阪城2-1 TEL 06-6947-7208

http://www.peace-osaka.or.jp FAX 06-6943-6080

JR環状線「森ノ宮」北出口・Osaka Metro「森ノ宮」①番出口

